

区間	延長	主な状況(平成28年8月現在)	備考
関広見IC ～ (高富IC)	8.4km	【用地】 用地取得中 【工事】 トンネル6本のうち4本貫通(北野・三輪・大洞・小洞) 山県TN工事、橋梁下部工事、改良工事を推進中、橋梁上部工事に着手	平成31年度※ 開通見通し
(高富IC) ～ (岐阜IC)	6.1km	【用地】 用地取得中(平成26年度着手) 【工事】 改良工事に着手	
(岐阜IC) ～ (糸貫IC)	6.3km	【用地】 用地取得中(平成26年度着手) 【調査】 埋蔵文化財調査を推進中	
(糸貫IC) ～ (大野・神戸IC)	6.8km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁下部工事を推進中	
(大野・神戸IC) ～ 大垣西IC	7.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁上下部工、改良工事を推進中	平成31年度※ 開通見通し
大垣西IC ～ 養老JCT	5.7km	平成24年9月15日開通済	
養老JCT ～ (養老IC)	3.3km	【用地】 用地完了(平成26年度) 【工事】 橋梁上部工事、改良工事を推進中	平成29年度 開通見通し
(養老IC) ～ (北勢IC)	18.0km	【用地】 用地取得中 【設計】 橋梁・道路詳細設計を推進中 【工事】 工事用道路建設に着手	
(北勢IC) ～ (大安IC)	6.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁上下部工事を推進中	
(大安IC) ～ 東員IC	6.1km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁上下部工事を推進中	平成30年度 開通見通し
東員IC ～ 新四日市JCT	1.7km	【用地】 用地完了(平成23年度) 【工事】 工事完了(平成28年度)	平成28年8月11日 開通

※予算状況等により開通時期が遅れることがあります。

<トピックス>

■東海環状自動車道のストック効果



平成27年12月18日、東海環状地域整備推進協議会から、『暮らしの礎』子孫に引き継ぐストック効果』と題し、東海環状自動車道東のストック効果の発表が行われました。

詳細は岐阜県庁ホームページでご確認頂けます。
岐阜県庁ホームページ

<http://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/doro/kosoku-doro/>

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期に得られる効果

■東海環状西回り利活用促進会議が発足



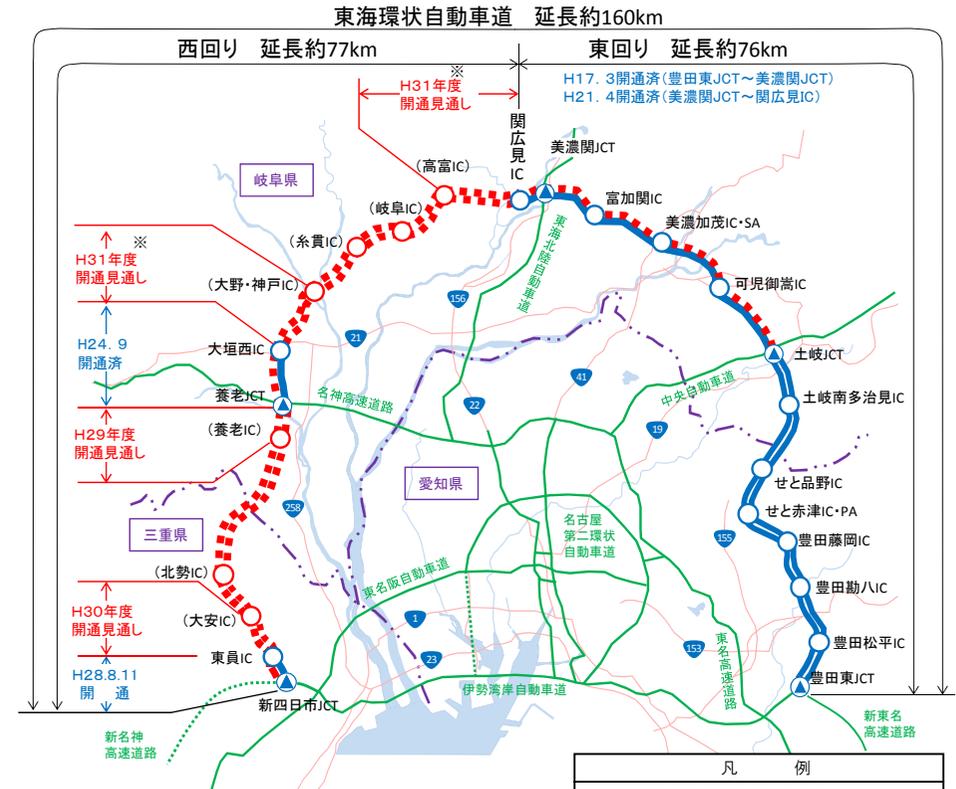
平成28年7月14日、東海環状自動車道を利活用する自治体と企業等が協力し、ストック効果の最大化を図り、地域の持続的なまちづくりを支援することを目的に会議が発足されました。

三重県、岐阜県の両県が県境を越え一堂に会した初会合(約100名)では、活用方法についての意見が交わされました。

■事業目的

国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約160kmの高規格幹線道路(一般国道の自動車専用道路)です。

本事業は、中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、環状道路内の渋滞緩和、沿線地域の地域産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保に寄与します。



※予算状況等により開通時期が遅れることがあります。



愛称「MAGロード」

三重県の頭文字である「M」、同じく愛知県の「A」、岐阜県「G」を組み合わせ「MAGロード」と命名されました。マグネット(磁石)のように、それぞれの地域を引きつける道路という意味も込められています。

国土交通省 中部地方整備局
岐阜国道事務所・北勢国道事務所

東海環状自動車道(西回り)現場状況

ダイジェスト版
平成28年8月11日

■東員IC～新四日市JCT

今回開通区間

平成28年6月撮影



■養老JCT～(養老IC)

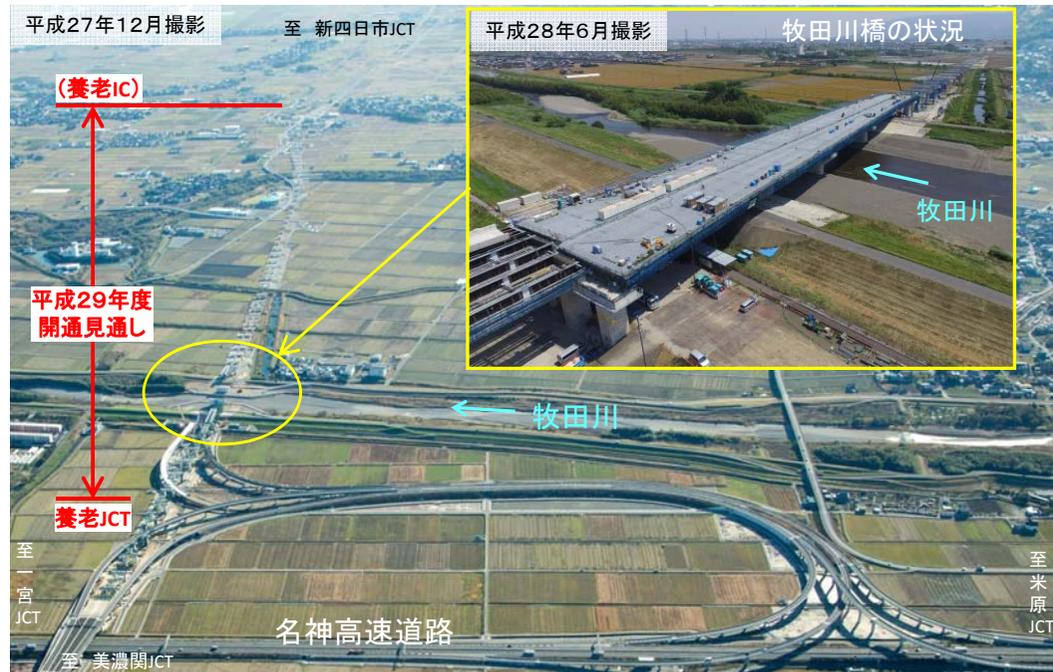
平成29年度開通見通し

平成27年12月撮影

至 新四日市JCT

平成28年6月撮影

牧田川橋の状況



■大安IC～東員IC

平成30年度開通見通し

至 養老JCT

平成28年3月撮影

平成28年4月撮影

大安IC付近の状況

平成28年4月撮影

至 新四日市JCT



■関広見IC～(高富IC)

平成31年度開通見通し

平成28年5月撮影

平成28年6月撮影



■(大野・神戸IC)～大垣西IC

平成31年度開通見通し

平成28年5月撮影

平成28年5月撮影

